

日本シグマックス、骨の健康状態を確認する機会拡大に向け、取り組み推進 「第 28 回日本骨粗鬆症学会」に出展

－超音波骨密度測定装置や体幹固定関連製品など、骨粗鬆症の診療に役立つ製品を展示－

日本シグマックス株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:鈴木 洋輔)は、2026 年 9 月 11 日(金)～13 日(日)に朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンターで開催される「第 28 回日本骨粗鬆症学会」に出展いたします。ブースでは、超音波骨密度測定装置や超音波画像診断装置、体幹固定関連製品などを展示予定です。

■骨粗鬆症領域における当社の取り組み

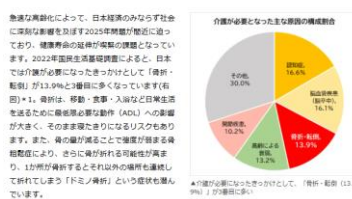
日本シグマックスは、創業当初から「身体活動支援業」を事業ドメインに掲げ、医療事業において整形外科領域を中心に、運動器の治療・回復を支える医療機器・医療用品を展開してきました。近年は、医療現場の課題やニーズを起点とした製品・サービスの提供・提案を通して、さまざまな診療領域における運動器関連の課題解決に取り組んでいます。

骨粗鬆症は、自覚症状がないまま進行し、骨折を契機として身体機能の低下や活動範囲の縮小につながるため、早期発見・適切な受診につなげることが重要とされています。当社では、超音波骨密度測定装置「LIAQUS ポータブル」の展開に加え、骨粗鬆症に関する実態調査の実施、日本在宅医療連合学会大会や日本プライマリ・ケア連合学会学術大会などへの出展、訪問診療を実施しているかかりつけ医を対象にした骨粗鬆症予防・診療の啓発ウェビナーの開催を通して、骨の健康状態を確認する機会の重要性について情報発信を行っています。

知られざる「連鎖する骨折」、認知や備えの意識は低い結果に、国民の9割が「骨粗鬆症」認知も、「ドミノ骨折」は3割未満にとどまる。検査未受診は7割にのぼり、4人に1人が「調べる必要がない」と回答

日本シグマックス株式会社「骨粗鬆症およびドミノ骨折に関する意識と実態調査(2024年)」を実施
日本シグマックス株式会社 2024年10月15日 14時00分

医療、スポーツ、ウェルネスの分野で人々の身体活動を支える日本シグマックス株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:鈴木洋輔)は、超音波骨密度測定装置「LIAQUS(リアクス)ポータブル」(以下、LIAQUSポータブル)をはじめとした製品を通じ、骨粗鬆症による一次予防の予防への貢献を目指してまいります。



地域で取り組む骨折予防!
～骨粗鬆症早期発見にスクリーニング検査が果たす役割～

2026年
8月29日(木)
19:00～20:30
開催会場: [「地域で取り組む骨折予防」](#)

定員 500名
※事前登録制

講師
川島 寛之 先生 (新潟大学大学院 看護学総合研究科 看護内視鏡学講座 整形外科学 教授)

1 19:05～19:30
「地域で取り組む骨折予防のリスクと骨粗鬆症診療の重要性」
山本 智章 先生 (新潟リハビリテーション病院 院長)

2 19:35～20:00
「地域で 骨の健康」を導く
～介護や訪問診療で、小児QUS機器を活用して～
山口 正康 先生 (医療法人社団 山口クリニック 院長)

20:05～20:25 Liveディスカッション

お申込みはこちらから ▶▶▶

▲左: 骨粗鬆症に関する実態調査リリース、中央: 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会での出展ブース、右: 当社開催のウェビナー

今回出展する第 28 回日本骨粗鬆症学会は、骨粗鬆症の診断・治療に携わる専門家が集う国内有数の学術集會です。当社は本学会への出展を通じて、骨の健康状態を確認することの重要性や、骨粗鬆症の早期発見につながる取り組みについて発信し、誰もがより長く身体活動を続けられる社会の実現に貢献してまいります。

■第 28 回日本骨粗鬆症学会 概要

会期: 2026 年 9 月 11 日(金)～ 9 月 13 日(日)

会場: 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

公式サイト URL: <https://shinsen-mc.co.jp/jos28/index.html>

当社ブース出展場所: 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター1F 展示ホール A(小間番号 18)

<本リリースに関するお問い合わせ先>

日本シグマックス株式会社 経営企画室 広報 緒方・峠・前川

TEL: 03-5326-3254 FAX: 03-5326-3201 MAIL: kouhou@sigmax.co.jp (広報共有)

■展示予定製品

本学会では、超音波骨密度測定装置「LIAQUS ポータブル」をはじめ、超音波画像診断装置「ポケットエコー miruco CL5」、ギプス包帯「ハイブリッドシーネ スパイン」、腰部固定帯「マックスベルト FR」などを展示します。骨粗鬆症の予防・早期発見から、骨折後の治療・回復支援まで役立つ製品をご紹介します。

超音波骨密度測定装置「LIAQUS ポータブル」

販売名：超音波踵骨測定装置 FRS-100A

一般的名称：超音波骨密度測定装置(JMDNコード：40779000) / 医療機器分類：管理医療機器

特定保守管理医療機器：該当 / 医療機器認証番号：305AHBZX00038000

踵骨を対象とした超音波測定により、骨の健康状態の確認に活用いただける装置です。



超音波画像診断装置「ポケットエコー miruco CL5」

一般的名称：汎用超音波画像診断装置(JMDNコード：40761000) / 医療機器分類：管理医療機器

特定保守管理医療機器：該当 / 医療機器認証番号：306AFBZX00100000

外来診療や在宅医療など幅広い現場で、身体の状態把握に活用いただける超音波画像診断装置です。



ギプス包帯「ハイブリッドシーネ スパイン」

一般的名称：ギプス包帯(JMDNコード：33056000) / 医療機器分類：一般医療機器

医療機器届出番号：13B2X00187000048

『ギプスシーネの固定力』と『サポーターの快適性』、2つの機能を掛け合わせた新しいギプス包帯です。脊椎の骨折などにおける体幹部の固定にお使いいただけます。



腰部固定帯「マックスベルト FR(エフアール)」

前合わせ部に支持機構のプラスチックステーと硬質メッシュ素材を配置した腰部固定帯。体幹を前面からサポートします。



■日本シグマックス株式会社について <https://www.sigmax.co.jp/>

所在地：東京都新宿区西新宿 1-24-1

創業：1973 年 6 月 1 日

資本金：9,000 万円

代表取締役社長：鈴木 洋輔

社員数：238 名(2026 年 3 月末)

売上高：162.2 億円(2026 年 3 月期)



日本シグマックスは「身体活動支援業※」を事業ドメインとし、幅広いフィールドで人々の身体に関わる製品・サービスを提供しています。創業以来「医療」の中でも「整形外科分野」に特化して、各種関節用装具やギプスなどの外固定材、リハビリ関連製品、冷却療法のためのアイシングシステム、治療・診断のための医療機器など、特徴のある製品を提供してまいりました。「スポーツ分野」ではスポーツ向けケア・サポートブランド『ZAMST』を中心に国内外で高い評価を受けております。また日常生活を支える「デイリーケア」、労働者の身体をサポートする「ワーカーズケア」といった分野で『MEDIAID』ブランド製品を拡大展開しております。

※身体活動支援業：運動器障害の予防・診断・治療・回復、及び運動機能維持・向上を目的とした製品・サービスを提供することにより、人々がより健康で快適な生活を送れるよう支援する業(当社による造語)

＜本リリースに関するお問い合わせ先＞

日本シグマックス株式会社 経営企画室 広報 緒方・峠・前川

TEL: 03-5326-3254 FAX: 03-5326-3201 MAIL: kouhou@sigmax.co.jp (広報共有)